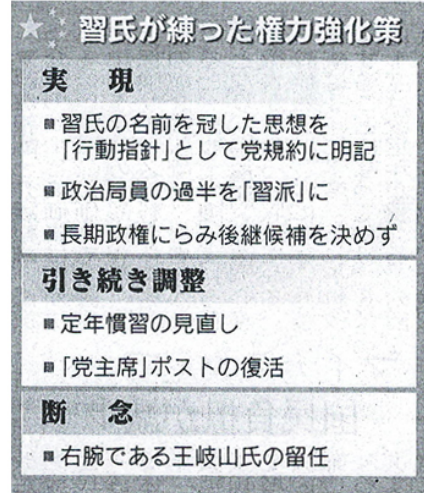


- 10/23・安倍政権再び始動 与党、3分の2維持 教育無償化「年内に具体案」  
日経平均一時250円超高 与党大勝を好感 円安、114円台
- 10/24・イタリア北部2州で住民投票 自治権拡大「賛成」9割超 < 1 >  
欧州各地に分離の火種 独立、政府やEUが壁 (分離地域は自動的にEUから離脱)  
・高齢者支える現役 1人あたり1.9人に 厚労白書、25年
- 10/25・「習1強」新指導部発足 中国共産党常務委員を選出 後継世代は入らず < 2 >
- 10/26・トランプ通商政策に反旗 「NAFTA維持」米産業界が連合体  
・英GDP0.4%増に拡大 (7-9月期) 11月の利上げ判断後押し
- 10/27・欧州中銀が量的緩和を縮小 来年1月から 資産購入額半減、9月まで < 3 >  
緩和幕引き慎重に 資産購入再延長の余地 景気・物価見極め  
・韓国経済、家計負債に死角 7~9月GDP1.4%増 半導体押し上げ、危うさも < 4 >  
・アマゾン売上高最高 7-9月5兆円 通販・クラウド好調  
グーグル最高益、33%増益 広告収入好調 マイクロソフトも売上高12%増に  
・9月消費者物価0.7%上昇 原油価格上昇で電気・ガスが押し上げ  
・スバル、無資格検査30年以上か 有資格者判子で適正装う
- 10/28・米経済3%成長維持 消費・投資など堅調 利上げ路線後押し < 5 >  
税制改革見通し、なお不安材料
- 10/29・メガバンク大リストラ時代 業務3.2万人削減へ デジタル技術による効率化で  
日銀マイナス金利政策で国内の収益落ち込みを海外で補う構図強まる
- 10/31・日銀、緩和策を維持 (金融政策決定会合) 物価見通しは下方修正 リスク残る  
黒田総裁「出口は2%物価上昇目標が実現される状況で議論するもの」  
・正社員求人最高1.02倍 (9月) 消費支出は0.3%減  
生鮮食品・エネルギー除く物価伸び率は0.2% 家計の節約志向根強く  
・米物価9月1.6%上昇 利上げ判断に影響  
・トランプ選対の元会長起訴 ロシア疑惑で特別検査官  
・NZ新政権、TPP11残留へ 農産品輸出拡大にカジ
- 11/01・米、12月の利上げ有力 先物市場では確率98%で利上げ織り込む  
・ユーロ圏2%成長維持 (7-9月年率) 雇用底堅く消費好調 物価上昇なお鈍く < 6 >

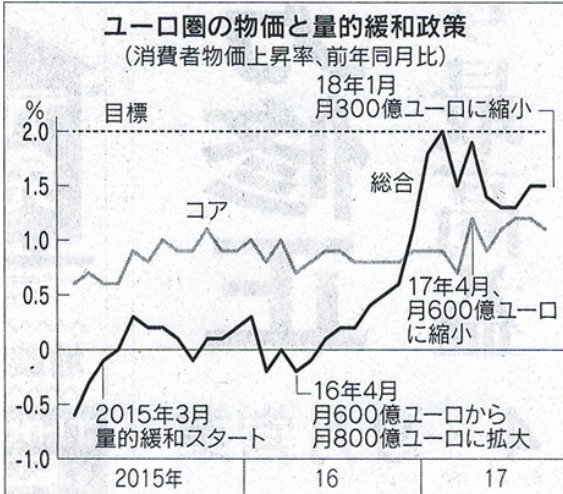
<1>



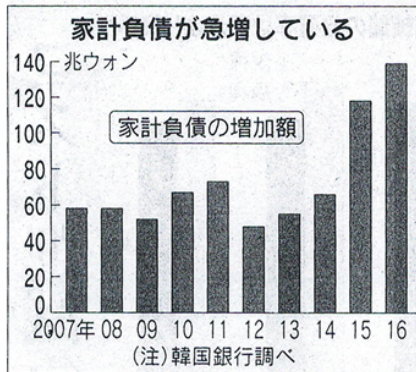
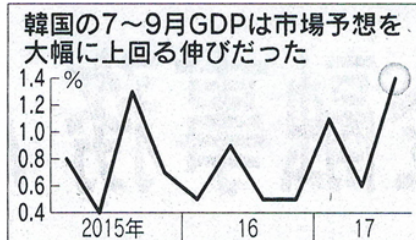
<2>



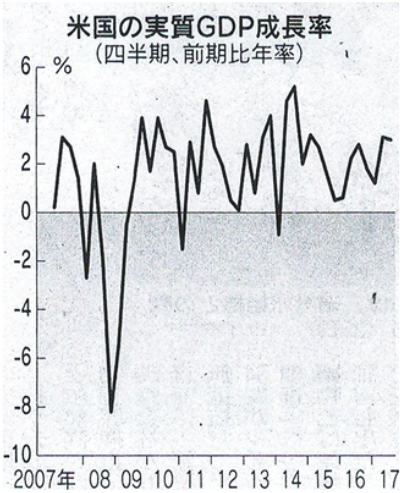
<3>



<4>



<5>



<6>

